

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。

うららかな春の日に、桜吹雪の舞う中、本日、第四十一回入学式を、御来賓、そして御家族の皆様とともに挙行できますことは、教職員一同の大きな慶びです。

ただ今、入学を許可いたしました二百三十七名の生徒の皆さんは東京都立紅葉川高等学校江戸川校舎第四十一期生として、新たに本校生徒の一員となりました。本校教職員及び在校生一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

本校は昭和六十年に、東京都立紅葉川高等学校として、ここ、現在の地である江戸川区臨海町に移転し、今年で四十一年目を迎えております。

本校の教育理念は「文武両道」・「自主自立」とし、生徒たちが自主・自立の精神で学校生活を送り、日々の学習は勿論のこと、部活動などの特別活動を通じて、自己の目標実現に向けて努力しています。

そして、この教育理念を実現するための校訓が四つあります。「敬愛」、「協力」、自らを律する「自律」、そして、「気概」です。「敬愛」とは、人権を重んじて他人を尊敬し、親しみの心をもつこと、「協力」とは社会連帯の意識を深め、心をあわせて努力すること、「自律」とは自身の立てた規範に従って行動し、自己実現を図ること、「気概」とは心身を鍛え、困難にくじけない強い意気のあることを言います。

新入生の皆さんも「文武両道」・「自主自立」を心に置き、校訓である「敬愛」、「協力」、「自律」、「気概」の四つを身につけた真の紅葉川高校生になって欲しいと期待しています。紅葉川高

校第四十一期生として、本校を益々発展させ、本校の文化の新たな発信者となってください。

江戸時代の俳人、松尾芭蕉の「おくのほそ道」の序文に、「月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり」とあります。これは、八世紀、唐代の中国の詩人、李白の文章を踏まえたもので、月日は永遠の旅人であり、やってきては過ぎていく年も旅人である、すなわち、人生そのものが旅のようなものであるという意味と解釈されています。

本日、入学式を迎えた新入生の皆さんは、今、高校生活という新しい旅の始まりに立っています。これから、見たことのない景色に踏み出し、多くの人と出会います。出会いを大切に、一步一步、歩みを進めてください。

旅の途中では、雨の中に行く日もあるかもしれません。思うように進めない日があっても、休み休みでも構いません。あなたのペースで目的地にたどり着くまで進んでください。

目的地を決めない漂泊の旅も楽しいものですが、はっきりした目的地があり、それに向かって行く旅は、尊くやりがいのあるものです。高校生活という名のこの旅には3年という期限があります。ぜひ夢を描き、叶える3年間にしてください。

目標がある人は幸いです。最も適した道を選ぶでしょう。目標がはっきりしなくても、心の中に、「大学に行きたい」、そして「これを学びたい、仕事にしたい」という思いがあれば、進む方角が決まってきます。これから機会があるものは何でもやってみてください。今は関心のないことでも、取り組んでしばらくすると面白さがわかってきます。この3年間で仲間とともにたくさんの経験をして、多くの人に出会ってください。

今日から皆さんが通う紅葉川高校は、文武両道を掲げています。

文武両道の「文」は「学ぶこと」、「考えること」、授業や講習でまずは先生方がリードしてくれますので、学問の入り口にたくさん触れてください。

得意なものは楽しく集中して取り組むことができます。楽しくなってくれば、自主的に進めていくことができます。苦手なものは、まずは短い時間で構いません。毎日触れてみてください。継続は力なり、「そんなに嫌じゃない。何をすればいいかわかる。」と感じる日が必ず来ます。こうしていると学力も付き、困難な時に諦めず、乗り越えていく力が付きます。

現代において「武」は、武道に限らず、人の輪の中で切磋琢磨し、自分を鍛えること。体育、行事、部活動、生徒会活動やボランティア活動など、仲間とともに取り組み、精一杯そこに貢献することだと考えています。個人の力を高め、仲間を知り、互いの強みを生かして一つのチームとなっていく。その中で自然と相手を思いやる利他の心やコミュニケーション能力が身についていきます。

高校時代に身につけた、学力とコミュニケーション能力は一生の宝になります。

コミュニケーションというと私たちはどうしても伝えることに気を取られてしまいがちですが、相手の意図を正しく受け取れるように最後まで話を聞くこと、わからなければ質問すること、そして相手にわかりやすく伝えることができるようになってください。

保護者の皆様、ようこそ紅葉川高等学校へ。まもなく成人を迎える生徒たちの成長を共に見守るパートナーとして本校を選んでいただき、大変光栄に存じます。

卒業式の日には、こんなに立派に成長したかと思っていただけるよう努めてまいります。本校の教育活動に御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、本日入学された新入生諸君の三年間が実り多いものであることを願い式辞といたします。

令和七年四月八日

東京都立紅葉川高等学校長 小山 多香子